

2011年9月8日

高機能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」が
世界唯一の全面屋根付き天然芝スタジアムの実現に貢献
～ラグビー世界大会の会場に採用～

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京都、社長：石村和彦）は、本年9月9日にニュージーランドで開催されるラグビー世界大会の会場「フォーサイスパースタジアム」（ダニーデン市、収容人数約3万人）に当社の高機能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」が使用されたことをお知らせします。

8月上旬に完成し、ラグビー世界大会（大会期間：9月9日～10月23日）の予選が開催されるフォーサイスパースタジアムは、世界唯一^{注1}の全面屋根付き天然芝スタジアムであり、その透明屋根部分20,000㎡に厚さ0.2mmの「アフレックス®」が使用されました。同スタジアムは、スポーツ以外にもイベント・コンサートや展示会の開催が可能であり、天然芝と太陽光によって屋内でありながら開放感を享受でき、かつ、悪天候時には風雨や雪から観客を守る画期的な多目的・全天候型施設です。



【スタジアム内部（屋根部分にアフレックス®を使用）】



【スタジアム外観（イメージ）】

「アフレックス®」は、当社が原料から一貫生産している高機能フッ素樹脂（Fluon® ETFE^{注2}）をフィルム化した製品で、耐熱性・耐薬品性・非粘着性・電気特性・耐候性・透光性などの優れた特長により、1975年の発売開始以来、エレクトロニクス、航空・宇宙、太陽電池、壁紙、グリーンハウスなどに幅広く使用されています。さらに、近年は海外を中心に建築材料としての使用も増えてきており、同スタジアムにおいても、次のようなメリットが総合的に評価され、採用されました。

- ①光の透過率が高くスタジアム内の開放感の演出と芝の育成に最適（日射透過率90%超）
- ②耐候性が高く長寿命のため環境負荷が少ない
- ③厚さ0.2mmの軽量素材であり施工性に優れる
- ④非粘着性のため汚れが付きにくい

AGCは、今後もガラス・化学・セラミックスの総合力を活かし、環境負荷低減や省エネ・創エネに貢献する製品を開発・供給していきます。

注1：Dunedin Venues 社調べ

注2：ETFE（Ethylene-TetraFluoroEthylene）

エチレン（C₂H₄）とテトラフルオロエチレン（C₂F₄）の共重合体

以上

◎本件お問合せ先：AGC 旭硝子(株) 広報・IR室長 上田 敏裕

（担当：杉山 TEL:03-3218-5603、E-Mail:info-pr@agc.com）

<ご参考>

1. フォーサイズバースタジアム概要

所在地 : ニュージーランド オタゴ地方 ダニーデン市

収容人員 : 約3万人

フィルム加工・施工 : Vector Foiltec社 (同社ホームページ <http://www.foiltec.com/>)

2. 高性能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」使用事例

(1) ミュンヘン・サッカースタジアム

(2) ユニクロ 心齋橋店

「Allianz-Arena」



(3) カザフスタンショッピングモール

「Khan Shatyr Entertainment Centre」



©Copyright Reproduced Courtesy of Vector Foiltec